

令和4年度 第2回住吉区防災専門会議 会議要旨

- 1 日 時 令和4年10月26日（水）午後6時30分から午後8時45分
- 2 場 所 住吉区役所4階 大会議室
- 3 出席者
(委 員) 生田委員長、井西委員、石橋委員、上田委員、小林委員、篠原委員、畑委員、原田委員、松岡委員
(区役所他) 区長、副区長、地域課長、保健主幹、地域課長代理、地域課担当係長 等
住吉消防署地域担当司令
- 4 報告事項
 - (1) 令和4年度第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - (2) 令和4年度第1回区政会議での防災に関する意見要旨について
- 5 議題事項
 - (1) 令和4年度住吉区総合防災訓練の実施について
 - (2) 令和5年度防災の主な取組（案）について
- 6 グループディスカッション
 - (1) 女性の視点を踏まえた避難所運営について
- 7 議事要旨
 - 報告
 - (1) 令和4年度第1回住吉区防災専門会議での意見に対する対応方針について
 - ・避難所に配備している救急セットの内容物について説明を行った。
 - ・避難所運営において、女性の視点だけではなく、さまざまなニーズを考慮して今後も意見交換を行っていきたい旨の説明を行った。
 - (2) 令和4年度第1回区政会議での防災に関する意見要旨について
 - ・大地震等の時のみではなく、火災等の災害においても目をむけてプランを立ててほしいとの意見に対して、火災の際には消防署からの連絡を受け対応しているが、今後も引き続き地域と連携していく旨の説明を行った。
 - 議題
 - (1) 令和4年度住吉区総合防災訓練の実施について
 - ・令和4年11月12日に実施する住吉区総合防災訓練について、概要や各避難所における訓練規模、総合防災訓練に向けて各地域で実施した模擬訓練の実施内容等の説明を行った。

(2) 令和5年度防災の主な取組（案）について

- ・令和5年度防災の主な取組（案）について、備蓄物資の配備や災害時用タブレットの追加配備、防災力向上に向けた研修会等の実施、福祉避難所等の開設運営訓練の実施等、8項目について説明を行った。

■ グループディスカッション

(1) 女性の視点を踏まえた避難所運営について

ア 女性の視点を踏まえた避難所運営について大事だと思うこと

[発表・意見内容]

- ・組織運営の女性を増やしていく。（目標30%）
- ・炊出しを女性の仕事と決めつけないなど、役割を性別で分けずに協働できるかたちが必要である。
- ・今はもう男女だけではないので、さまざまな方が選択できるスペースも必要である。
- ・授乳スペースや女性専用更衣室、洗濯物干し場などの安心できるスペースを確保する。
- ・トイレを男性1、女性3の比率とする。
- ・生理用品やおむつの確保、女性専用の物資については女性が配布する、中身が見えないように黒いゴミ袋を配備する。
- ・明るさの確保や、見回り際には男女ペアで行う。
- ・生理用品や授乳などの必要な物資に関しては、アレルギー対応も含めて避難所で全てを備蓄することは不可能なので、特有の物資は基本的に自助を心掛けるべきである。
- ・災害発生直後は命を守ることが第一となるため難しいと思うが、性別による配慮が当たり前となり、お互いを思いやる意識を持つことが大切である。

イ スペースが狭い避難所において対応できることについて

[発表・意見内容]

- ・避難所に配備している簡易テントを仕切り替わりにして、スペースを分け、女性専用スペースを確保する。
- ・仕切りは160cm程度で、プライバシーが確保できる高さにする必要がある。
- ・レジャーシートや段ボール、ブルーシート等でスペースを分ける。
- ・既存のトイレは女性用とし、男性は外の仮設トイレを使用していただく。
- ・避難所自体を配慮が必要な方の専用避難所とし、元気な方は別の避難所に行っていただけのように日常から周知しておくべきである。
- ・配慮しすぎることにも注意が必要であり、程よい距離感で選択肢があるような合理的配慮といった自然な感じが良い。